

トライアングル

令和4年度フロン類算定漏えい量集計結果

環境省及び経済産業省は、業務用空調冷凍機器を使用する事業者から報告のあった、令和4年度のフロン類算定漏えい量の集計結果を公表しました。

全国では、特定漏えい者¹⁾398事業者（R3：396事業者）から報告があり、算定漏えい量は234万t-CO₂（R3：227万t-CO₂）でした。また、特定事業所²⁾で見ると、180事業所（R3：203事業所）、55万t-CO₂（R3：55万t-CO₂）となっています。

- 1) 特定漏えい者 1年間に事業者全体（法人単位）で算定漏えい量が1,000t-CO₂以上の者
- 2) 特定事業所 特定漏えい者のうち、1つの事業所からの算定漏えい量が1,000t-CO₂以上の事業所

兵庫県における特定漏えい者からの報告件数は102件（全国6位）、算定漏えい量は15万t-CO₂（全国2位）となっています。

特定漏えい者からの報告件数

都道府県名	順位	報告件数 [件]	割合
神奈川県	1位 (→)	131	32.9%
東京都	2位 (→)	126	31.7%
千葉県	3位 (↑)	115	28.9%
大阪府	4位 (↓)	111	27.9%
埼玉県	5位 (→)	106	26.6%
兵庫県	6位 (↓)	102	25.6%
愛知県	6位 (↑)	102	25.6%
茨城県	8位 (→)	91	22.9%
静岡県	9位 (→)	84	21.1%

算定漏えい量

都道府県名	順位	漏えい量 [万t-CO ₂]	割合
東京都	1位 (→)	23	9.9%
兵庫県	2位 (→)	15	6.2%
埼玉県	3位 (↑)	14	6.0%
大阪府	4位 (↓)	13	5.7%
神奈川県	5位 (↓)	13	5.4%
愛知県	6位 (↑)	12	5.2%
千葉県	7位 (↓)	12	5.0%
三重県	8位 (↑)	11	4.8%

※複数都道府県について報告した特定漏えい者がある

特定漏えい者の主たる事業の業種（日本標準産業分類の中分類）別で見ると、兵庫県では、「各種商品小売業」（5.4万t-CO₂, 37%）からの漏えい量が最も多く、次いで「化学工業」（4.1万t-CO₂, 28%）、コンビニエンスストアなどの「飲食料品小売業」（2.1万t-CO₂, 15%）、「鉄鋼業」（0.9万t-CO₂, 7%）でした。下表に過去3年間の算定漏えい量の業種別推移を示します。

順位	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1	各種商品小売業 (5.4万)	化学工業 (10.9万)	各種商品小売業 (5.7万)
2	化学工業 (4.1万)	各種商品小売業 (5.3万)	化学工業 (2.6万)
3	飲食料品小売業 (2.1万)	飲食料品小売業 (1.8万)	飲食料品小売業 (2.4万)
4	鉄鋼業 (0.9万)	食料品製造業 (1.4万)	鉄鋼業 (1.4万)
5	食料品製造業 (0.9万)	鉄鋼業 (1.2万)	食料品製造業 (1.2万)

()内はt-CO₂

兵庫県フロン回収・処理推進協議会令和6年度通常総会開催

令和6年度通常総会を開催しました。総会後には、引き続き功労者表彰式及び30周年特別講演会も開催しました。

日時：令和6年6月28日(金) 13:30～16:00
場所：ラッセホール5階 会議室「サンフラワー」
内容：【通常総会】 13:30～
【表彰式】 14:20～
【特別講演会】 14:40～16:00

昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画、予算などの定例の議案の承認などが行われました。



功労者表彰式

当協議会では、設立25周年の節目を迎えた令和元年度に表彰制度を創設し、フロン類の回収又は処理に関する業務等に永年にわたり従事され、その功績が特に優れた個人を表彰しております。毎年年度末に功労者表彰の候補者を募集し、推薦された方を理事会にて審議、承認して表彰者を決定しています。本年度は4名の方々が表彰され、賞状とトロフィーが授与されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。

受賞者	会員名
松永 竜徳	株式会社アール・ビー・エヌ
岡田 政光	オカダ電工
堀田 秀樹	ネクスト・ワン株式会社
岡本 拓磨	甲南冷機株式会社

(順不同・敬称略)



兵庫県フロン回収・処理推進協議会は今年で30周年

本協議会は、平成6年12月に設立され、本年で30年を迎えます。設立から1箇月後の平成7年1月に阪神・淡路大震災が発生し、各方面の協力を得て、被災地でフロン類の回収作業を行うなど、地域からの積極的な取り組みを先進的に進めてまいりました。また、東日本大震災の際には、被災3県のフロン類回収に寄与するなど、皆様のご助力をいただきながら、各種事業に取り組んでまいりました。

他の都道府県にもフロン類の排出抑制を目的とした協議会がありますが、当協議会のように30年継続して活動している団体は兵庫県を含め全国でもわずかです。30年という長きにわたり、フロン類の排出抑制に係る取り組みを継続できているのも、会員の皆様方が適正に冷凍・空調機器を管理し、充填の際の漏洩防止、関係者へのフロン類使用製品取扱方法の周知等に日々取り組んでいただいているおかげです。この場で厚く御礼申し上げます。

今後もさらに、フロン類の「使用の合理化」や「管理の適正化」に向けた様々な情報収集や普及啓発、研修等を開催してまいりたいと思います。

30周年特別講演会 「2030年へ向けた変革のアジェンダ～持続可能な開発目標SDGs～」



講師紹介： 蟹江 憲史 氏
国連事務総長の任命を受けた独立科学者15人の1人として、グローバル持続可能な開発報告書(GSDR2023)の執筆を行うなど、国内外でSDGsや環境問題を中心に多方面で活躍。NHK総合テレビ「クローズアップ現代」、NHKオンライン「地球ラジオ」などに出演。朝日新聞デジタルに連載中。



30周年を記念して、特別講演では、日本におけるSDGsの第一人者である慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授の蟹江 憲史氏をお招きし、「2030年へ向けた変革のアジェンダ～持続可能な開発目標SDGs～」として、世界におけるSDGsの取り組み状況や課題と今後私たちが目指すべき目標等についてご講演いただきました。

出前講座を開催しませんか？

業務用冷凍空調機器の管理者向けに説明会を行っています

平成29年度から、業務用冷凍空調機器の管理者の皆さまに、フロン類のことや機器の簡易点検のことなどを知っていただくため、出前講座を費用無料で開催しています。



フロン排出抑制法の概要や管理者の責務などについての講義、機器点検のポイントについて実機を用いた説明等が主な内容となります。

会場で実際に使用されている業務用空調機器や大型冷凍機を使い、簡易点検ではどこをチェックすればよいか、記録はどのように書けばよいかなど、簡易点検を行う方にとって実際に役立つ内容について実演いたします。

会員の皆さま、または会員の取引先などの方で、簡易点検の方法がよく分からないなど、お困りの方や興味のある方がおられましたら、ぜひとも一度出前講座をご活用ください。当協議会から講師を派遣し、簡易点検の手引きや会場の機器を使って説明いたします。

研修時間は2時間程度ですが、時間や人数、研修の内容等により柔軟に対応させていただきます。お問い合わせは、裏面最下段に記載の【発行・問い合わせ先】にお願いします。

会員支援内容のご案内

会員特典です
(無料でご利用いただけます)

○行程管理票等資材の提供

フロン類の回収・処理推進のため、資材提供を行っており、多くの会員さまに好評をいただいております。ぜひお申込みください。

現在提供している資材一覧		申込みいただける数量
行程管理票（A～F票）推奨版	JRECO作成	1会員あたり年間 合計100部 まで
行程管理票（A～F票）汎用版		
再生・破壊管理票（X～Z票）		
フロン回収済シール	当協議会オリジナル	上限なし（無くなり次第提供終了）
フロン簡易点検マグネット		
フロン簡易・定期点検ステッカー		

○第一種フロン類(業務用冷凍空調機器)回収・処理技術講習会

令和6年度も技術講習会を実施します。会員の方で当該講習会を受講された方に「受講修了証」を発行いたします。当該修了証は、第一種フロン類の回収業者として新規登録、更新の際に必要な「フロン類の性状及びフロン類の充填・回収方法について十分な知見を有する者」の証明としてお使いいただけます。

	日時（受付は午前10時から）	場所
神戸会場	令和6年12月17日（火） 午前10時30分から午後4時まで	三宮国際ビル 住所：神戸市中央区浜辺通2-1-30
姫路会場	令和6年12月18日（水） 午前10時30分から午後4時まで	姫路労働会館 住所：姫路市北条1丁目98番地

※お申し込みはE-mailに①受講者氏名、②会社(団体)名、③所属部課名、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥希望会場を記入のうえ、【発行・問い合わせ先】のE-mailアドレスあて送付してください。後ほど事務局より申し込み完了のご連絡をいたします。

第一種フロン類充填回収業の登録を受けられている会員の皆さまへ

第一種フロン類充填回収業者登録の**有効期限は5年間**です。更新手続きはお済みでしょうか？お忘れにならないようご注意ください、登録通知書に記載されている満了日までに、登録更新手続きをお願いします。なお回収業の更新時に必要な「フロン類の性状及びフロン類の充填・回収方法について十分な知見を有する者」の証明として、上記の「第一種フロン類（業務用冷凍空調機器）回収・処理技術講習会」の受講修了証が使用いただけます。会員の方は無料で受講できますので、ぜひご検討ください。

トライアングル 第12号

県民・事業者・行政が一体となって

【発行・問い合わせ先】

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県水大気課内）

TEL：078-362-3285 / FAX：078-362-3966

E-mail：mizutaiki@pref.hyogo.lg.jp

URL：<http://www.hardoc.org>



兵庫県マスコットはばタン